

持続的生産強化対策事業のうちGAP取組・認証拡大推進交付金の事業評価票(平成31年度)

事業実施 主体	区分	目標値			事業の成果	国による評価
		目標値	実績	達成度		
茨城県	I GAP指導活動の推進	406名	552名	135%	県内12の地域農業改良普及センターでGAP研修会や現地指導を実施した結果、GAP指導農業者数は目標406名に対して、552名の実績となった。	成果目標を達成した。
	II GAP認証の取得拡大	11経営体	19経営体	172%	GAP認証取得支援について、令和元年6月から11月までに4回の公募を行った結果、21経営体から申請があった。その後、台風被害などにより2件中止となり、実績としては19経営体の支援となった。	
栃木県	I GAP指導活動の推進	1661名	218名	13%	GAP指導活動の推進においては、GAPの知識・スキルをもった普及指導員が現地で指導する際に役立つことができた。	GAP指導農業者数は、JAグループとの連携に関する協議に時間を要し指導開始が遅れたこと、GAP認証の新規取得経営体数は、認証を取得する予定だった農業者のうち一部農業者が審査を断念したこと等から、いずれも成果目標を達成できていない。このため、JA等関係機関と連携したGAPの意義や役割の啓発、団体認証取得に向けた合意形成の促進などを進め、GAP指導農業者数及びGAP認証の新規取得者数を増加させる改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	25経営体	18経営体	72%	GAP認証の取得拡大においては、GAP認証取得に取り組みたいが金銭面等でためらっていた農業者等を支援することができた。	
群馬県	I GAP指導活動の推進	60名	75名	125%	GAP指導活動の推進については、これまでの指導体制構築により円滑に活動が進み、目標値を上回る75名の指導を実施した。	GAP認証の新規取得経営体数は、認証を取得する予定だった農業者のうち一部農業者が審査を断念したことから、成果目標を達成できていない。このため、JA等関係機関と連携したGAPの意義や役割の啓発、団体認証取得に向けた合意形成の促進などを進め、GAP認証の新規取得者数を増加させる改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	11経営体	9経営体	82%	本事業を活用したGAP認証の新規取得経営体数はJGAPの9経営体となった。目標値の11経営体のうち、1団体(9経営体)が団体認証を取得する予定であったが実際は7経営体を取得を行った。個別認証では2経営体が新規に認証取得を行い合計経営体となり、目標値である11経営体の新規認証取得には至らなかった。	
埼玉県	I GAP指導活動の推進	100名	123名	123%	県職員(普及指導員)等に、県主催のGAP指導員育成のための研修会やJGAP指導員研修等、民間企業主催の研修会を受講させ、指導員を育成するとともに、主に農業者を対象としたGAPに関する研修会を開催するなど、農業者に対するGAP指導活動を推進した。	GAP認証の新規取得経営体数は、認証取得を見込んでいた農業者が審査を断念したこと等から、成果目標を達成できていない。このため、JA等関係機関と連携したGAPの意義や役割の啓発、団体認証取得に向けた合意形成の促進などを進め、GAP認証の新規取得者数を増加させる改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	7経営体	1経営体	14%	GAP認証を取得しようとする農業者等に対し、審査費用等の一部について補助金を交付し、認証取得を支援することができた(1経営体)。	
千葉県	I GAP指導活動の推進	164名	95名	58%	GAP指導農業者数については、国際水準の内容を含むらばGAP制度に取り組む農業者や国際水準等の民間認証取得希望者、JA等農業者団体に対してGAPの取組指導を行った結果、95名となったが目標達成には至らなかった。	GAP指導農業者数は、9月から10月に相次いだ台風及び集中豪雨等により、成果目標を達成できていない。このため、引き続き、JAグループ等と連携して、国際水準GAPの実施に向けた農業者への指導を行うことなどを進め、GAP指導農業者数を増加させる改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	10経営体	20経営体	200%	GAP認証の新規取得については、公募を2回(1回目:6月10日～7月5日、2回目:8月26日～9月25日)実施し、その後は生産者からの要望に都度対応をした結果、新たに目標を超える20経営体(団体1件(15経営体)、個別5経営体(内、農業教育機関1))の新規認証取得を支援した。	
神奈川県	I GAP指導活動の推進	80名	44名	55%	GAP推進会議及びGAP研修会をJA神奈川県中央会と共催で開催して指導体制の強化を図り、各地域の農協部会組織等でGAPの取組を推進したところ、GAP指導農業者数が44名となった。	GAP指導農業者数は、国際水準GAPの実施に向けた農業者への指導を予定しており実施できなかったこと、GAP認証の新規取得経営体数は、認証審査手続きに時間を要し、年度内のGAP認証取得ができなかった農業者がいたこと等から、いずれも成果目標は達成できていない。このため、JA等関係機関と連携したGAPの意義や役割の啓発、団体認証取得に向けた合意形成の促進などを進め、GAP指導農業者数及びGAP認証の新規取得者数を増加させる改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	17経営体	3経営体	18%	新たに2経営体のGAP認証の取得を支援し、かねがわ農業アカデミーがJGAP認証を取得した。	
山梨県	I GAP指導活動の推進	112名	112名	100%	GAP推進フォーラムを開催することで、農業者等に対しGAP手法の取り組みの意義やGAPをめぐる国内動向、実践事例等を広くPRするとともに、県普及指導員等を国際水準GAPに係る研修に派遣し、農業者等の国際水準GAPの取得に向けた指導・支援体制を確立した。	成果目標を達成した。
	II GAP認証の取得拡大	5経営体	5経営体	100%	国際水準GAPの認証取得に志向する農業者等に対し、取得に係る審査費用、環境整備費用等を補助することで、国際水準GAPの導入推進を支援した。	
長野県	I GAP指導活動の推進	77名	229名	297%	JGAP指導員基礎研修会を2回(7月、11月)開催し、合計85名が研修受講を通して知識習得できた。研修受講者が早期に指導活動を行うよう、より実践的な研修として、JGAP指導員現地研修会を開催した。普及指導員や革新支援専門員を参集し、県の指導体制や対象農家への指導方法等について検討し、積極的なGAP指導の実践を推進し、229名の農業者へGAP指導を行った。	GAP認証の新規取得経営体数は、認証取得の自己負担軽減のため県単独事業を活用して認証取得した農業者がいたこと等から、成果目標を達成できていない。このため、JA等関係機関と連携したGAPの意義や役割の啓発、団体認証取得に向けた合意形成の促進などを進め、GAP認証の新規取得者数を増加させる改善計画を策定するよう指導を行い、再度評価を行う。
	II GAP認証の取得拡大	8経営体	1経営体	13%	本事業を活用した新規認証取得経営体数は目標達成とならなかったが、GAP指導員による指導活動等の結果、令和元年度のGAP認証の全新規取得経営体数は165経営体となった。	
静岡県	I GAP指導活動の推進	845名	892名	106%	令和元年度の県補助事業を活用し、GAP認証取得に取り組んだ892名に対し、GAP実践に向けた指導を行った。	成果目標を達成した。
	II GAP認証の取得拡大	681経営体	744経営体	109%	令和元年度国事業を活用し、新たに744経営体が認証取得見込みとなった。	